

令和6年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	上志の風		
事 業 名	「新人議員のための地方自治の基本」		
事 業 区 分	①研究研修	②調査	

1 上田市での課題と研修・調査の目的

地方自治体の議員として何ができるのか、何をすべきなのか。1期の議員として2年を経て、初心に戻り議員の職務を基本から学び、今後上田市民の役に立てるような政務活動ができるようにするため。

2 実施概要

実施日時		主催	全国市町村国際文化研修所
令和6年 5月8日(水) ～5月10日(金)		会場	滋賀県大津市唐崎2-13-1
報 告 内 容	講義の概要 (1)「地方自治制度の基本について」 同志社大学政策学部教授 野田 遊 (2)「地方議会制度について」 全国市議会議長会 企画議事部 篠田光洋 ① 『議員のあり方』 ・代表の観念の会得 ・他の議員の意見を傾聴し検討 ・利己的行動をとらない ・執行機関と協力して行政の成績を挙げる ② 地方議会の権限 ・議決権 条例の制定・改廃 予算 決算 など ・監視権 報告及び書類受理県 検査権 監査請求権 調査権 承認権 同意見 不信任議決権 など		

・選挙権

議長及び副議長の選挙

選挙管理委員及び補充員の選挙

など

・意見表明権

意見提出権

諮問等申権

請願受理権

など

・自律権

委員会の設置及び委員の選任

議会事務局の設置

会議規則や委員会条例の制定

など

(3) 地方議会と自治体財政

『予算・決算の仕組み及び自治体財政の仕組み』

静岡県立大学経営情報学部 教授 小西 敦

・令和4年度一般会計当初予算の審議結果 (出典：市議会議長会2023)

全国市予算決議 附帯決議なし：748件 91.8%

附帯決議あり：37件 4.5%

修正可決 : 18件 2.2%

否決 : 0件 0.0%

◆概ね行政の予算案について可決されている。議会が首長に対する「追認機関」であるかのように映る。

◆普通地方公共団体の長の予算の提出の権限を侵すことはできない。

◆財政：「ニーズ」…生存あるいはより人間的な生活のために人々が集団的に求めるものを満たすこと（無償）

市場：「欲望」…私的な生活の満足のために個々の人々が求めるものを満たすこと（有償）

※地方公共団体の長が「ニーズ」に合っているものへ予算付けをしているか議員はしっかりと主張すること

◆議員は財政状況資料集の入手し、市の財政状況を把握することが望ましい

(4) 地方議会と政策～条例検討を中心に～

新潟大学経済科学部教授 矢野 邦久

地方議会 宮城県

新潟県

滋賀県 の市町村の条例を例題にして

160人あまりの全国市町村の議員がグループに分かれ条例検討会

を実施し、活発な意見交換をして、その後代表者が結論を全体会にて発表。

(5)「これからの地方議員に期待されること」

近畿大学法学部教授 辻 陽

◆権力の融合と分立

- ・議員内閣制・・・首相はつねに議会の多数派の支持を得ていることになるから、行政権と立法権は首相の手の下に融合されている
- ・二代表制・・・有権者によって選ばれる執行部を制御する政府の長と同じく有権者によって選ばれる議会とがともに民主主義的な正統性をもつ

※首長の対議会に対する権限は強い。予算案は議決結果における修正可決や否決の数は非常に少なく、議会の追認機関化に繋がる。

◆質疑及び質問の意義

- ・質疑・・・議会に提出された議案などについて疑問点を尋ねる。議員にとって最も重要な職務は議決権の行使であるため、主肯できない点がある場合には、質疑する必要
- ・質問・・・行政一般について執行部の見解を尋ねたり、意見を述べたりする。議決で賛同することで政策実現をしていく議員にとって、議員質問の場が議員にとっての見せ場にならざるをえない可能性もある。首長部局に「気づき」をもたらし、当該自治体が他の自治体にひけをとらない行政にするための場にする必要

◆政党に属していない議員が多くなる場合、政党を介して中央政府や権政府などの動きに関する情報を把握することが困難になる可能性があるため、垂直的な融合も議員は必要である。

まとめ

議員の職務は質疑・質問です。市民の直接選挙で選ばれている市長の予算案を覆すことは、容易ではないことを理解しました。そのため、市長部局に「気づき」をもたらせる質疑・質問をすることが重要である事も同時に学びました。

また、国会議員や県会議員と接点を持ち、国や県から情報を収集するとこと市の情報を県や国に届けることが大切であり必要であることを感じました。今回の研修では、議員として活動をする上での基礎が学べましたので、今後の議員活動に活かしていきます。



--	--